

静岡県教育委員会

議事録

令和元年度 第14回定例
12月4日（水）

静岡県教育委員会教育長 木苗直秀は、

令和元年12月4日に教育委員会第14回定例会を招集した。

- | | | | | |
|---|------|--------------|---------|--------|
| 1 | 開催日時 | 令和元年12月4日(水) | 開会 | 13時30分 |
| | | | 閉会 | 13時50分 |
| 2 | 会場 | 教育委員会議室 | | |
| 3 | 出席者 | 教 育 長 | 木 苗 直 秀 | |
| | | 委 員 | 渡 邊 靖 乃 | |
| | | 委 員 | 藤 井 明 宏 | |
| | | 委 員 | 伊 東 幸 宏 | |
| | | 委 員 | 小野澤 宏 時 | |

事務局(説明員)	鈴 木 一 吉	教育部長
	松 井 和 子	教育監
	長 澤 由 哉	理事(総括担当)
	木 野 雅 弘	参事兼財務課長
	堀 口 敬 記	教育総務課長
	中 山 雄 二	教育政策課長
	中 川 好 広	福利課長
	宮 崎 文 秀	義務教育課長
	赤 堀 健 之	高校教育課長
	伊 賀 匡	特別支援教育課長
	山 下 英 作	社会教育課長
	名 雪 元	健康体育課長
	西 山 義 則	静岡教育事務所長
	市 川 克 明	静岡西教育事務所長
	三 科 守	中央図書館長
	塩 崎 克 幸	総合教育センター所長
	大 石 正 佳	教育総務課参事

4 その他

- (1) 第32号議案は原案通り可決された。

【開 会】

教 育 長： ただ今より、教育委員会定例会を開催する。
今回の議事録の署名は、私のほか、小野澤委員にお願いする。

教 育 長： それでは審議を開始する。

第 32 号議案 志榛地区新構想高等学校（仮称）の敷地選定

教 育 長： 第 32 号議案「志榛地区新構想高等学校（仮称）の敷地選定」について、赤堀高校教育課長より説明願う。

高校教育課長： <議案についての説明>

教 育 長： 質疑等はあるか。

藤 井 委 員： この再編計画については確定という事か。

高校教育課長： そうである。

藤 井 委 員： 伊東地区においても、計画には載っているが様々な議論が交わされている。この志榛地区のケースでは、特に問題が生じていないという理解で良いか。

高校教育課長： そうである。地元の首長さんや同窓会の方とも調整を重ねており、地域の子どもたちに新たな選択肢を用意するという意味でも、関係する市長から受け入れていただいている。

藤 井 委 員： 再編というチャンスを活かして、より魅力ある学校にしていくという方向はあっていいと思う。再編自体は確定で良いと思うが、より良い学校づくりという点においては、引き続き検討を続けていく必要がある。

高校教育課長： 志榛地区に限らず、他の学校においても、どのような学校にしていくのかということについては、突き詰めていく形になる。

藤 井 委 員： 伊東の場合は、アートという特色が存在していたが、この学校の場合について、特色のようなものはあるか。

高校教育課長： 核となるかは分からないが、不登校や長期欠席の子どもたちが登校しやすい、多様性への対応を考えている。

藤 井 委 員： それも良いと思うが、地域の特色としての要素があるのであれば、多様性への対応という点だけではなく、少し幅のある捉え方をして検討すればよいと思う。何か一つキラリと光る学校にすると、地域外からもこの学校に通ってみたいと思うきっかけになると思う。

小 野 澤 委 員： 自分はこの学校の出身であるが、在学当時は特色の弱さからか、島田の学校を志す傾向があった。これを機会に皆が通いたいと思ってもらえる学校になれば、すごく良いことだと思う。

伊 東 委 員： この学校を作ることによって、募集が停止になる学校があるようだが、その学校の関係者などから、否定的な意見は出ていないか。

高校教育課長： 藤枝東と島田商業の定時制が募集停止となるが、否定的な意見はで

ていない。

藤井委員： 通学距離が長くなる方もいると思うが。

高校教育課長： 藤枝方面に在住の方はそうになってしまう。その代り、これまでは夜だけだったのが昼の授業もあり、幅が広がるという点と、金谷高校自体が駅からそれほど遠くないという点もある。

藤井委員： 今御説明いただいた内容が、机上の空論となってしまう、結果何も無いという形にならないよう、何か一つ具体化、実現させるという意気込みでやってほしい。

渡邊委員： 県としては学びの場を提供することが主であり、その中で何をしていくかということについては、そこで学ぶ生徒や先生、地域の方々に作り上げていくものであるため、主体性を十分に発揮できるようなサポートが必要だと思う。

教育長： 委員の皆さんの御意見を参考に、国内や海外も含めて、情報収集をしながら、ローカルにグローバルに活躍する人材育成を行っていきたい。

藤井委員： 1点確認したい。この敷地は、安全性の観点から見て、伊東であったようなケースも含めて、ハザードマップ上や地盤も含めて何ら問題はないという事で良いか。

高校教育課長： そうである。

藤井委員： 承知した。

教育長： 他に質疑等はあるか。

全委員： (特になし)

教育長： 本案を原案どおり可決することに異議はないか。

全委員： (異議なし)

教育長： 第32号議案は原案どおり可決する。

教育長： 以上で、本定例会の議事はすべて終了した。
これをもって、令和元年度第14回教育委員会定例会を閉会とする。